

Ⅲ. 民間組織の取組(1/3)

- ▶ 東京では、地域で活動するVCやアクセラレーター、大企業・中堅企業が各々の強みを活かしてスタートアップ支援に取り組んでいる。主な活動実績は以下のとおり

企業名	主な取組の概要
JVCA	<ul style="list-style-type: none"> 5/31現在273社の会員 (VC 120CVC85賛助68) 2020年度は計26回のセミナーを実施し、ベンチャーキャピタル業界の質的向上に寄与
三菱地所(株)	<ul style="list-style-type: none"> 大手町・丸の内・有楽町エリアのイノベーションエコシステム形成を担うTokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)にてTMIPパートナーVC等と連携し、イベントを実施 スタートアップのインキュベーションを行う施設の運営及び誘致を実施 起業家支援を行うSAAIの立ち上げ運営
森ビル(株)	<ul style="list-style-type: none"> エコシステム形成促進支援事業共同プロジェクト:各種事業が着実に進捗 環境スタートアップ大賞×ARCH:ARCHに入居する58社の大企業を対象に出展企業23社のパネル展示 イノベーションリーダーズサミット:対面とオンラインイベントを2つの会期に分けて開催 大企業新規事業部の人材育成に向けて、ブランディング戦略やデータの利活用など海外の先進事例を題材に日本企業に足りない知識やマインドセットを教育
東急(株)	<ul style="list-style-type: none"> TAP:Tokyu Accerarate Program DemoDay2020 SOIL:オープンイノベーションに関連するイベントの実施 CVC:スタートアップ企業への出資 QWS:イノベーションに関連するイベントの実施
東急不動産(株)	<ul style="list-style-type: none"> CVC:スタートアップ企業への出資、VCへの直接出資 PnP渋谷:イノベーションに関連するイベントの実施 「未来シェアリング」のコンセプトを掲げ、コンソーシアム形式でイノベーションを育成する場所「ニュートラル・イノベーション・ベース」を4月1日よりスタート 渋谷プラットフォームーズミーティング、認定地域別協議会共同プロジェクト
三井不動産(株)	<ul style="list-style-type: none"> スタートアップ支援:新ワークスペースブランド「startup workspace THE E.A.S.T.」本格始動 ライフサイエンス領域:国内外のアカデミアやベンチャーキャピタルを集積、グローバルな連携の促進を目的としたライフサイエンス拠点「GLOBAL LIFESCIENCE HUB」開設 宇宙ビジネス:新拠点X-NIHONBASHI TOWERが日本橋三井タワーに誕生、宇宙ビジネスに関わるイベントの主催・誘致 ・Asian Entrepreneurship Award(AEA)をオンライン開催。アジア14の国/地域を同時接続し、30社のスタートアップが会場

Ⅲ. 民間組織の取組(2/3)

1. 地域で活動するVC、アクセラレーターの取組

東京コンソーシアムには、28社のVC、3社のアクセラレータが加盟し、地域の中核となる企業や大学と連携しながら、継続的にスタートアップ支援活動を展開

日本ベンチャーキャピタル協会: 東京にほとんどのVCが集積、資金の出し手の主要機能
VCベンチマーク作成による機関投資家からの資金調達強化と、キャピタリスト研修等によるVCプロフェッショナルの育成、大学発ベンチャー創出シンポジウムなどを開催

渋谷エリア関連:

・Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産
世界的アクセラレーターであるPlug and Play Japanのアクセラレート拠点
渋谷の特徴であるダイバーシティの強みを活かし、スタートアップ企業×大企業の連携だけでなく、大企業×大企業や行政×大企業×スタートアップ企業などが生まれるコンソーシアム型のアクセラレートが展開。
・東急アクセラレートプログラム(TAP)
東急グループの事業者が持つ様々なアセットやリアル顧客接点等を活用し、用途開発支援と社会実装支援を行うスタートアップ支援プログラム。
企業からの応募の通年の受付及びDemoDayの実施。

大手町・丸の内・有楽町エリア関連:

・三菱地所が大手町・丸の内・有楽町エリアのイノベーションエコシステム形成を担うTokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)にてTMIPパートナーVC等と連携し、イベントを実施(オンラインで計4回)。

六本木・赤坂・虎ノ門エリア関連:

・多くのベンチャーキャピタルが集積するKaleidoWorksでは、ベンチャーキャピタルによるスタートアップ企業へのハンズオンによる事業拡大の支援や起業家やキャピタリスト人材の育成プログラムなどが開催される。(JVCA、森ビル、IncubateFund、BdashVentures、GreeVentures)
・サムライインキュベイト、スパイラルベンチャーズなど、様々な大企業のアクセラレータープログラムの運営を支援するプレイヤーが拠点を構え活動を行っている

Ⅲ. 民間組織の取組(3/3)

2. スタートアップを支援する地域の大企業・中堅企業の取組

渋谷エリア:IT・クリエイティブコンテンツ系企業の集積

(東急不動産)

- ・Plug and Play Shibuya powered by 東急不動産
 - Plug and Play Japanのアクセラレート拠点であると共に、一般会員も入居可能なインキュベーションオフィス。
 - ・スタートアップと100のサポートやビジネスの創出を行う「SHIBUYAスタートアップ100」プロジェクトを2021年3月に実施完了。
 - ・次フェーズとして「未来シェアリング」のコンセプトを掲げ、コンソーシアム形式でイノベーションを育成する場所「ニュートラル・イノベーション・ベース(以下NIB)」を4月1日よりスタート
- (東急)
- ・SHIBUYA QWS※子会社である渋谷スクランブルスクエア株式会社が運営:日本のスタートアップエコシステムにおいて課題とされているシード支援・Exitのうち主にシードの支援をするために、大学をはじめとするさまざまな領域のパートナーと連携し、新たな社会価値の創出を加速させるオリジナルのプログラムやイベント、コミュニティの醸成に取り組む。

日本橋エリアほか:AI・ライフサイエンス関連のイノベーション拠点

(三井不動産)

- ・一般社団法人ライフサイエンス・イノベーション・ネットワーク・ジャパン(LINK-J)を設立、ライフサイエンス分野に従事する人のための「人と情報のプラットフォーム」として活動
- ・新ワークスペースブランド「startup workspace THE E.A.S.T.」を本格始動、フラッグシップ拠点「THE E.A.S.T. 日本橋富沢町」をオープン
- ・国内外のアカデミアやベンチャーキャピタルを集積、グローバルな連携の促進を目的としたライフサイエンス拠点「GLOBAL LIFESCIENCE HUB」開設
- ・宇宙ビジネスの新拠点X-NIHONBASHI TOWERを日本橋三井タワーに開設。宇宙ビジネスに関わるイベントの主催・誘致。

六本木・赤坂・虎ノ門エリア:外資系企業が集まる国際ビジネス拠点

(森ビル)

- ・都のエコシステム形成促進支援事業の共同プログラムとして「スタートアップマッチングプラットフォーム事業」「ワークスペース整備へのセンサー技術活用事業」を実施
- ・虎ノ門ヒルズインキュベーションセンター「ARCH」
環境スタートアップ大賞×ARCHを実施し、ARCHに入居する58社の大企業を対象に出展企業23社のパネル展示
- ・イノベーションリーダーズサミット「ILS」(2015年～ 年1回)
対面とオンラインイベントを2つの会期に分けて開催。スタートアップと大手企業の新事業創出マッチングプログラム「パワーマッチング」は、対面とオンラインのハイブリッド型で開催し、過去最大となる2,720件の商談を実施

大手町・丸の内・有楽町エリア:日本有数の大企業が集積する中心地

(三菱地所)

- ・大手町・丸の内・有楽町エリアのイノベーションエコシステム形成を担うTokyo Marunouchi Innovation Platform(TMIP)を立ち上げ、運営
- スタートアップのインキュベーションを行う施設の運営及び誘致を実施
- ・起業家支援を行う「有楽町「SAAI」Wonder Working Community」の運営
- SAAIプロデューサーにより情報発信をイベントで実施

IV. 大学の取組(1/3)

- ▶ 東京コンソーシアム会員として2021年8月時点で**24**の大学・研究機関が加盟
各大学を拠点としたエコシステム形成の取組が進行

1. 地域における大学のスタートアップ創出・支援の取組

大学名	主な取組の概要
慶應義塾大学	<ul style="list-style-type: none">● 第5回健康医療ベンチャー大賞(2020年12月20日Web開催) →ビジネスコンテスト。学生部門、社会人部門があり、書類審査、1次・2次審査を経て決勝まで進む。その間、各チームにメンターがついて併走しながら、事業計画等を指導● 第21回慶應義塾科学技術展「KEIO TECHNO-MALL」(2020年12月18日Web開催) →産官学連携のきっかけとなる「出会いの場を提供するイベント」
東京工業大学	<ul style="list-style-type: none">● 科学技術振興機構(JST)「社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型ー拠点都市環境整備型」採択● 「東工大発ベンチャー」称号授与制度● 「1st Tokyo Tech Venture Festival 2021」開催● 東工大学生向け起業支援プログラム「STARTech(実践起業塾)」実施● 東工大発ベンチャー向けインキュベーションオフィスの提供
筑波大学	<ul style="list-style-type: none">● ベンチャー起業相談室を設置(2020.10)● 筑波大学発ベンチャー称号授与・大学施設での登記について審議(2020.8-2021.7)● 筑波大学発ベンチャーシンポジウムを実施(2021.2)● 独自公募事業「2021年度事業化促進プロジェクト」を実施。● JST「社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型」の採択(2020.9)を受け、学内研究開発課題の起業活動支援を実施(2020.9-2021.3)
東京大学	<ul style="list-style-type: none">● 「東京大学FoundX」を実施(民間企業からの支援を受け、令和元年度から開始) 東京大学の卒業生・研究者・学生を対象とした起業支援プログラム● 千葉県・柏市と共に柏の葉地域における新規産業の創出に取り組む「産学協創プラットフォーム拠点」として、本学のインキュベーション施設、オープンラボ及び生産技術研究所附属価値創造デザイン推進基盤との合築で整備された「柏Ⅱキャンパス産学官民連携棟」(平成31年3月開設)にて、入居している研究室、生産技術研究所及びベンチャー企業が活動を開始
早稲田大学	<ul style="list-style-type: none">● 2020年9月にJST「社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型」の採択、および大学の提携ベンチャーキャピタルからの支援を受け、学内にPoCファンドを整備し、将来の起業に向けた研究シーズ発のビジネスアイデアの実証を支援する学内環境を整備

IV. 大学の取組(2/3)

2. 地域の大学における起業家教育の取組

大学名	主な取組の概要
慶應義塾大学	<ul style="list-style-type: none">● Keio Medical Application Challenge● 医学研究科修士課程アントレプレナー育成コースを開設● Science × Art 2021「転換期の中で世界とどう向き合うか」開催● ASG慶應反分野的研究フォーラム「Scienc-Ome」実施● ジュニアドクター育成塾KEIO WIZARD開催
東京工業大学	<ul style="list-style-type: none">● 大学院教育において、リーダーシップ教育の一貫として、アントレプレナーシップ論、デザイン思考、経営管理基礎等の『テクノアントレプレナーシップ教育』を実施● CBEC、PEECs、ToTAL、CUMOTという4つのプログラムで合計52の科目が開講
筑波大学	<ul style="list-style-type: none">● 「次世代起業家養成講座」を学部生向けの授業科目として実施(2021.5-7)。● 「起業家のための経営・知財必須知識」を学部生向けの授業科目として実施(2020.10-12)。● 「筑波クリエイティブ・キャンプ・ベーシック」を学部生向けの授業科目として実施(2021.4-6)。● 「筑波クリエイティブ・キャンプ・アドバンスト」を大学院生向けの授業科目として実施(2020.10-12)。● 「アントレプレナーシップトレーニング」を大学院生・ポスドク、研究者、民間企業の方向けに実施(2020.5-8)
東京医科歯科大学	<ul style="list-style-type: none">● 東京都との協定事業「創薬・医療データ科学イノベーション人材育成事業」で令和3年度から2つのプログラムを開講1. アントレプレナー育成プログラム(2021年6月開講)2. デジタルヘルス人材育成プログラム(2021年10月開講)
東京大学	<ul style="list-style-type: none">● アントレプレナー道場(東京大学の学部生、大学院生、ポスドクを対象としたアントレプレナーシップ教育プログラム)● EDGE-NEXTプログラム(文部科学省プログラム、研究者のイノベーション人材化を目指した教育プログラムを提供)● アントレプレナーシップ関連授業(工学部「アントレプレナーシップ」等)● Todai To Texas プロジェクト(東京大学関連のスタートアップや学生プロジェクトをSXSWの展示会に派遣、出展)● 本郷テックガレージ(学生が技術的なサイドプロジェクトを行うための開発拠点)
早稲田大学	<ul style="list-style-type: none">● 2017年9月に文部科学省次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)の採択を受け、アントレプレナー育成拠点の形成を目指し、起業・新規事業創出を志す人材養成のための教育プログラムを実施

IV. 大学の取組(3/3)

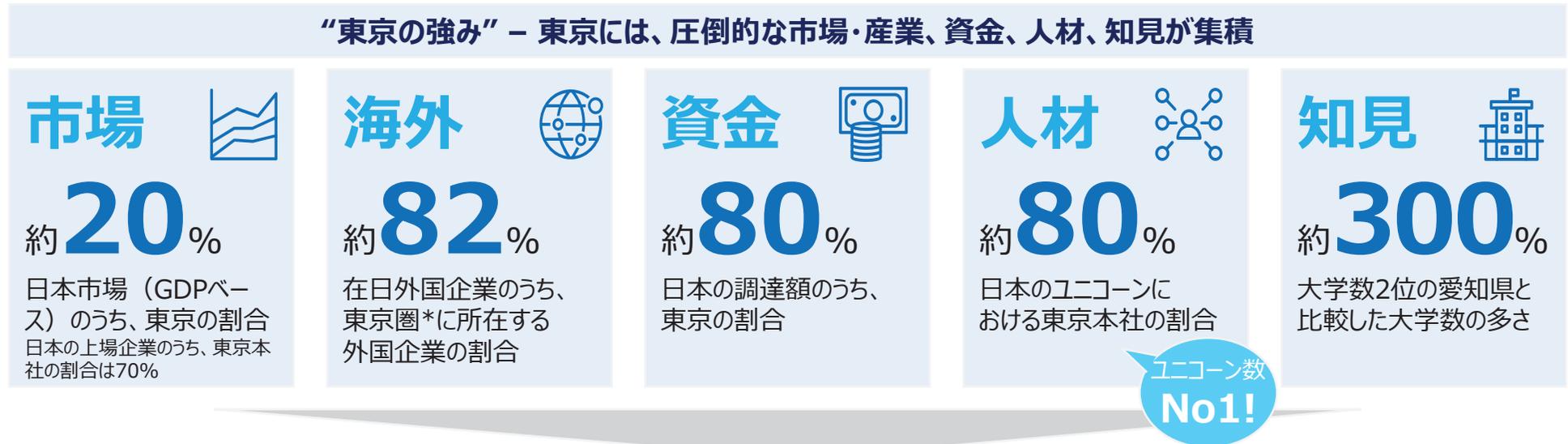
3. 大学と地方自治体、民間のスタートアップ創出・支援に関する連携

大学名	主な取組の概要
慶應義塾大学	<ul style="list-style-type: none">● 慶應イノベーション・イニシアティブ: 2021年1月22日、2号ファンドの募集を総額103億円で終了● はまぎん財団助成金事業● (地独)神奈川県立産業総合研究所と連携協定 (殿町LIC)に産学公で、首都圏のベンチャー企業等が細胞の培養・加工設備を共同利用できる仕組みを構築
東京工業大学	<ul style="list-style-type: none">● 「東工大横浜ベンチャープラザ(YVP)」を中小企業基盤整備機構及び横浜市と共同して設置● 「GAPファンド」を芙蓉総合リース株式会社及び株式会社みらい創造機構と共同で運用● Beyond Next Ventures 株式会社と共同して「Tokyo Tech x BRAVE」を開催
筑波大学	<ul style="list-style-type: none">● JST「社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型」及び文科省「EDGE-NEXT」での起業活動支援活動において(一社)TXアントレプレナーパートナーズ(TEP)と連携● コンソーシアム型インキュベーションプログラム「1st Round」での共催に関して東京大学協創プラットフォーム開発(株)(東大IPC)と覚書締結(2021.3)
東京医科歯科大学	<ul style="list-style-type: none">● 三井不動産株式会社がアカデミアと産業界と設立した一般社団法人であるLINK-Jとのイベントにおいて、2021年2月22日にセミナー「東京医科歯科大学発！オープンイノベーションイニシアティブ2021 vol.1」を実施
東京大学	<ul style="list-style-type: none">● 「柏Ⅱキャンパス産学官民連携棟」のインキュベーション施設では、東京大学の研究・教育成果の事業化・実用化を目指す個人及び法人に対して起業環境を提供
早稲田大学	<ul style="list-style-type: none">● 2021年3月にJST社会還元加速プログラム(SCORE)大学推進型(拠点都市環境整備型)の採択を受け、早稲田大学を中心としたT-UNITE(Tokyo United Network for Innovation with Technology and Entrepreneurs)が発足
順天堂大学	<ul style="list-style-type: none">● AIインキュベーションファームを核とした「幸福100年社会を築く次世代医療エコシステムの実現」に向け東京コンソ大学WG内にPT設置

V. 都市の環境・繋がり の状況 (1/2)

1. 都市の集積・環境の概要 (グローバルな人材を惹きつける環境)

(1) 都市の集積の概要



東京コンソーシアムは230の企業・組織が参加し、東京の縮図ともいえるネットワークを形成

(2) 都市の環境の概要

- 高い交通利便性、国際空港へのアクセス
- 森記念財団「世界の都市総合力ランキング」で東京は5年連続3位、全分野で高い評価
- 経済(4)、研究開発(3)、文化・交流(4)、居住(12)環境(18)交通・アクセス(7)

※()数字は分野別ランキング

V. 都市の環境・繋がり状況 (2/2)

- スタートアップが繋がる場として、渋谷・虎ノ門・日本橋・大丸有などの各エリアで、地域特性に応じた強いエコシステムが形成されており、今後これらのエコシステム同士が有機的に連携し、東京圏の集積を最大限活かすよう取り組むとともに、ユニコーン級企業の創出に向けて着実に取組を推進

エリア	スタートアップ支援者等の交流する施設・場	スタートアップ関連イベント
大丸有エリア	<ul style="list-style-type: none"> • ビジネスコンシェルジュ東京 • 3×3 Lab Future • 東京金融ビレッジ • SAAI Wonder Working Community • MIRAI LAB PALETTE • BeSTA FinTech Lab 等 	<ul style="list-style-type: none"> • FIN/SUM 2021 • Morning Pitch(毎週木曜日)(2019) • ALL STAR SAAS CONFERENCE • AI/SUM 2019 • FIN/SUM 2019
虎ノ門エリア	<ul style="list-style-type: none"> • CIC Tokyo • Venture cafe Tokyo • 虎ノ門ヒルズインキュベーションセンター「ARCH」 	<ul style="list-style-type: none"> • Thursday gathering • TSUKUBA CONNÉCT/NAGOYA CONNÉCT • Rocket Pitch Night 等
渋谷エリア	<ul style="list-style-type: none"> • WeWork Shibuya Scramble Square • Shibuya Inclusion Base Jinnan • H10渋谷神南 	<ul style="list-style-type: none"> • Social Innovation Week Shibuya2020
日本橋エリア	<ul style="list-style-type: none"> • THE E.A.S.T. 日本橋富沢町 • GLOBAL LIFESCIENCE HUB. • X-NIHONBASHI TOWER 	<ul style="list-style-type: none"> • X-NIHONBASHI Global Hub
柏の葉エリア	<ul style="list-style-type: none"> • 東京大学産学官民連携棟(千葉県柏市) • 東京大学駒場連携研究棟インキュベーションルーム 	<ul style="list-style-type: none"> • Asian Entrepreneurship Award(AEA) • 柏の葉イノベーションフェス(KIF)
その他エリア	<ul style="list-style-type: none"> • TOKYO創業ステーション(立川) • 東京コンテンツインキュベーションセンター(TCIC)(中野) • インキュベーション施設運営計画認定事業 	

VI-1. ウィズコロナ・アフターコロナを考慮した拠点形成

ポストコロナWGでの取組を踏まえた検討

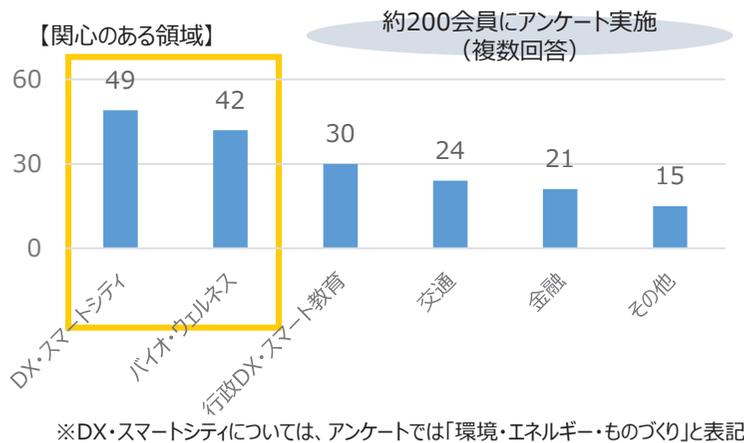
① ポストコロナWGでの示唆

7月のWG立上げ後計3回の開催を経て、以下の課題を整理・共有

- 感染症の危機を乗り越え、新しい未来を切り開き国際競争に打ち勝つためには、DXの強力な推進や都市のスマート化の進展が重要
 - また、バイオ分野はデジタル化やスタートアップの活用において重要
- WGでは、新たな社会の構築に向けたイノベーション実装のために重要な分野・テーマについて示唆を得る等、一定の成果

【会員へのアンケート結果】

会員に対し、東京コンソーシアムで今後活動したいテーマやそのリード意向についてアンケートを実施



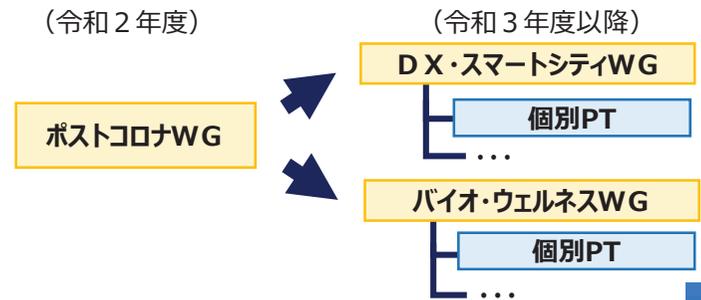
【積極的に推進・リードしたい活動テーマ】

約200会員にアンケート (複数回答)

分野	回答数	具体的な活動内容
DX・スマートシティ	16	✓ スマートファクトリー化の推進 ✓ EVスマートバッテリーによる電源の分散化、など
バイオ・ウェルネス	12	✓ がん、ゲノム、先進・再生医療 ✓ 未病推進(骨粗しょう症) など
行政DX・スマート教育	10	✓ 都政サービスDX など
交通	7	✓ デマンド交通、MaaS など
金融	5	✓ 高齢者向け金融DX支援 など
その他	8	—

② ポストコロナWGでの示唆を踏まえた展開

- 新たな社会構築に向けて重要かつ会員の関心の高い DX・スマートシティ、バイオ・ウェルネスの2分野について、ポストコロナWGに替わる新たなWGとして設置し、会員のさらなる取組を促す
- 現在、会員と個別に連携しながらプロジェクトチームの立ち上げに向けて調整中
DX・スマート分野では新たなPTが9月に立ち上がり予定



VI-2. グローバルを考慮した拠点形成(1/7)

1. Team Invest Tokyo PT の取組

- ・拠点都市としてのグローバル化の推進に向け、アジア(特に香港)からの外国企業誘致等を、国際金融都市の取組との連携により促進するため、グローバル化推進WGに設置
- ・令和2年度は、海外企業誘致の窓口強化や海外企業に向けた東京のPR、アジア向けアクセラレーションプログラム等を実施



東京開業ワンストップセンター(TOSBEC)

- 法人設立や事業開始時に必要な行政手続(定款認証・登記・税務・年金/社会保険・入国管理)を1か所で行うことができるように集約化。赤坂、渋谷・丸の内の3箇所に窓口を設置。
- 各省庁から派遣された相談員を配置し、申請書類の受付までサポート。
- 電子申請や相談時の多言語通訳サービスを提供、外国人起業家の利便性を向上(英語通訳は常時対応)
- 新型コロナ感染拡大とそれに伴う緊急事態宣言の状況を踏まえ、オンラインでの対応を強化
- 起業を検討している日本人・外国人のための ①セミナー43回、②相談会38回を実施
日本政策金融公庫、Startup Hub Tokyo、EDGE of、東京理科大学、オーストラリア・ニュージーランド商工会議所等とも連携
・令和2年度のセンター利用者のうち、約4割がセミナー参加者
- 平成27年度～令和2年度迄累計で16,886名(うち外国人5,187名)が利用
令和2年度の利用件数は3,664名

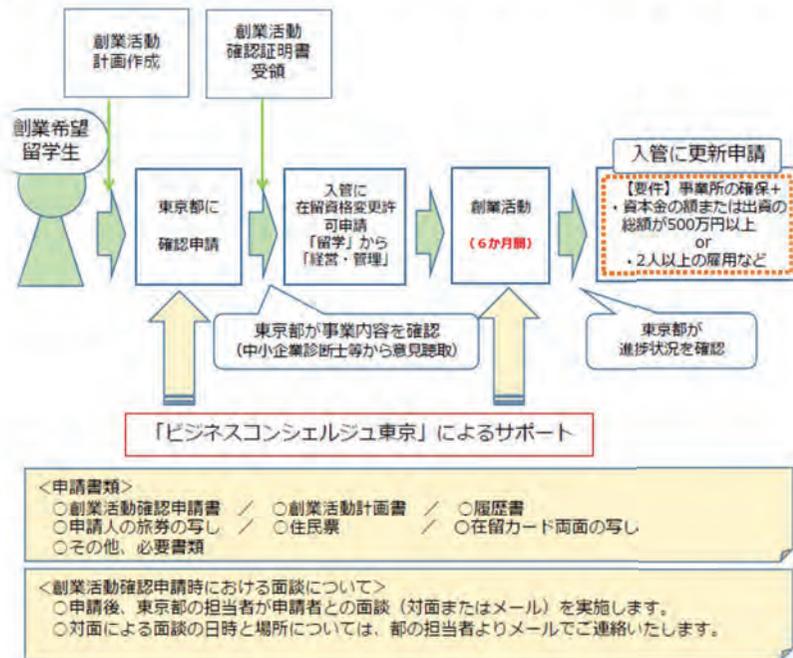


VI. グローバルを考慮した拠点形成(2/7)

外国人創業活動促進事業

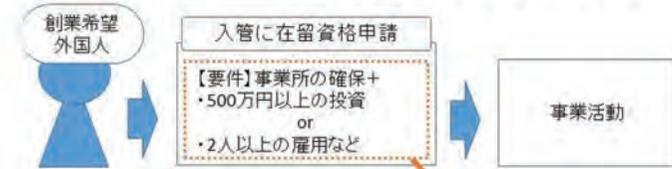
- 東京都が、創業活動に係る事業の計画の確認を行うこと等により、創業外国人上陸審査基準を満たす外国人への「経営・管理」ビザの付与を(6か月)の在留資格認定をサポート
- 令和3年度より、滞在資格「留学」で国内に滞在している外国人も本制度を利用して「経営・管理」資格へ変更することが可能になった

◆ 在留資格「留学」から「経営・管理」に変更する場合

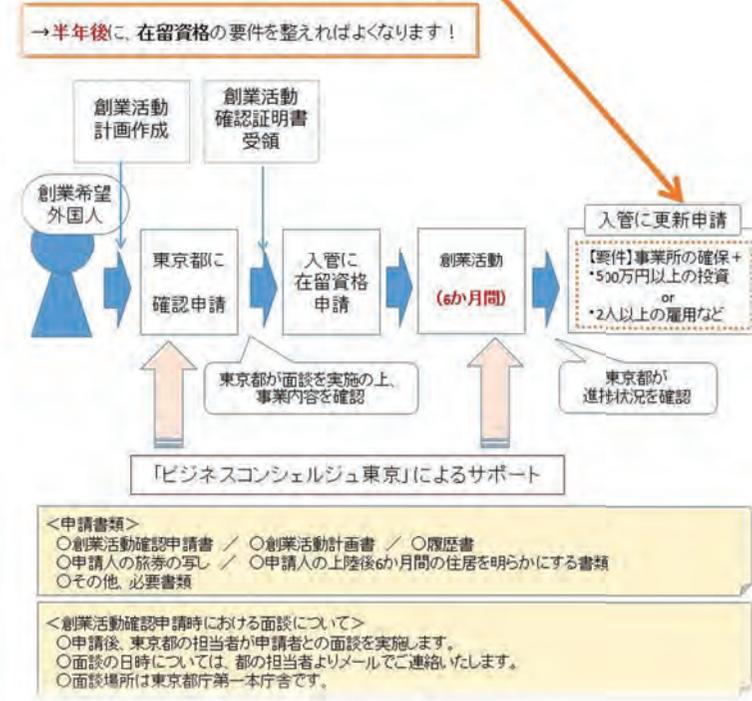


本制度の概要

【従来の「経営・管理」の在留資格取得の流れ】



【入管法の特例を活用した流れ】



Ⅵ. グローバルを考慮した拠点形成(3/7)

ビジネスコンシェルジュ東京

- 日本の商習慣等ビジネス全般にわたる相談や、**法人設立から販路開拓までに必要となる諸手続きの相談等に、英語の堪能なスタッフが一貫して対応し、東京でのビジネス展開をサポート**
- 令和2年度はオンライン対応を強化。
コロナの影響等によるビジネス環境変化への対応として、入国できない外国人創業人材への代理人を通じた対応、投資計画を見直す企業への拠点設立に向けたアドバイスなど、コロナ禍での進出及び定着に係る専門的なビジネス支援業務を実施
- 金融系企業への対応として、拠点設立補助金に加え、令和元年度・2年度に拠点設立した金融系外国企業を対象に、定着・成長を促進する「パワーアシスト補助金」の案内を開始
- **平成24年度～令和元年度迄の約9年間で累計12,516件の相談に対応
令和2年度の対応件数は1,705件 ※8割以上が非接触型の対応**
- 補助金等について413件、創業人材については643件の相談対応実施



VI. グローバルを考慮した拠点形成(4/7)

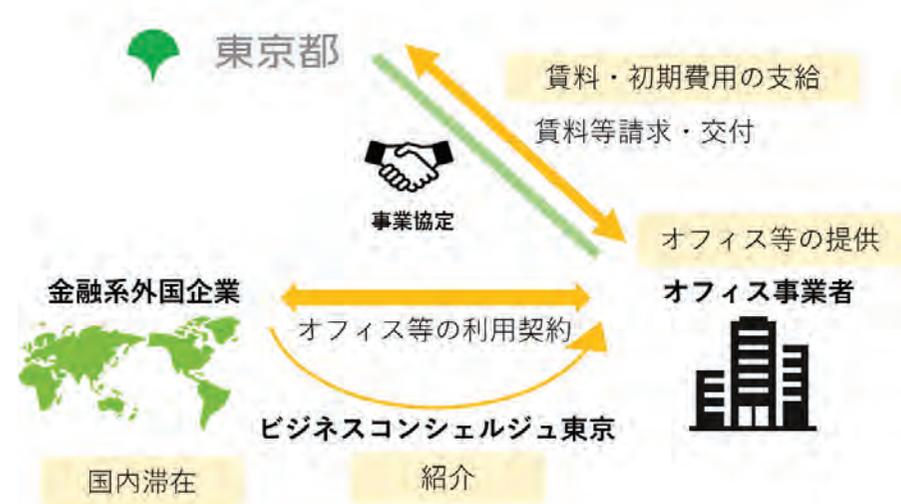
ビジネスコンシェルジュ東京・香港窓口【令和2年10月～】

- 相談方法:オンライン(対面は事前予約制)
- 対応時間:平日9:00～18:00(現地時間)
- 窓口機能
 - 相談対応:東京進出に際してのビジネス支援、マッチング、税務相談等
 - 市場調査:現地市場の動向や海外企業のニーズ調査・報告
 - 情報発信:海外企業やメディアに対する東京の魅力PR



金融系外国企業・人材に対する一時的オフィス提供【令和2年11月～】

- 新たに東京進出を検討する、アジアを中心とした金融系外国企業に対して、東京進出に向けた事前調査(リサーチ)等に必要となるオフィスを提供
- オフィス提供事業者と事業協定を結び、都がオフィス賃料等を負担
[オフィス提供事業者(五十音順)]
WeWork Japan、ディ・エグゼクティブ・センター・ジャパン、平和不動産、三井不動産、三菱地所、森ビル



VI. グローバルを考慮した拠点形成(5/7)

Invest Tokyoオンラインセミナー／香港からの企業・人材進出ガイドブック【令和2年11月～】

オンラインセミナー(11月～12月)

- 日本進出に関心を持つ香港のフィンテック企業、金融系高度人材及び資産運用業者を対象に、計3回のオンラインセミナーを実施。
- Fincity.TokyoやJETRO(香港事務所)、三菱地所(FINOLAB)等も登壇し、東京の魅力をPR。
- みずほ銀行、Invest HKを通じた周知等により、合計で200名以上(動画視聴者を含めると300人以上)が参加。

ガイドブック

- 香港の高度人材及び企業に対して、東京への進出のカギとなる情報を分かりやすく紹介・解説したガイドブックを作成。
- 完成したガイドについて、Team Invest Tokyo PTの参加者を通じて広く周知・配布。

ダウンロードは 
[こちらから!](#)



アジア特化版アクセラレータプログラム「Asia meets Tokyo」【令和3年1月～】

- アジアのフィンテックスタートアップ企業を対象として実施。
- アジアの9か国・地域から52社の応募があり、その中から8社を選定。
- 選定された8社に対して、みずほフィナンシャルグループ、三井住友フィナンシャルグループを含む12社の日本企業がメンタリング

[参加外国企業の概要はこちらから!](#)



VI. グローバルを考慮した拠点形成(6/7)

「UNLEASH TOKYO」オンラインイベントの実施【令和3年1月～】



ビジネス都市としての東京の真の魅力を、外国企業・東京の魅力を知るインフルエンサー・日本企業が一体となり、世界に発信するプロジェクト

■ 東京を熟知し、国際的に活躍する国内外の企業・インフルエンサー等が登壇する、東京の魅力発信のための大規模オンラインイベントを、3月9日(火)～11日(木)の3日間にかけて開催
3日間で16万Viewを記録(※海外メディア経由を含む)

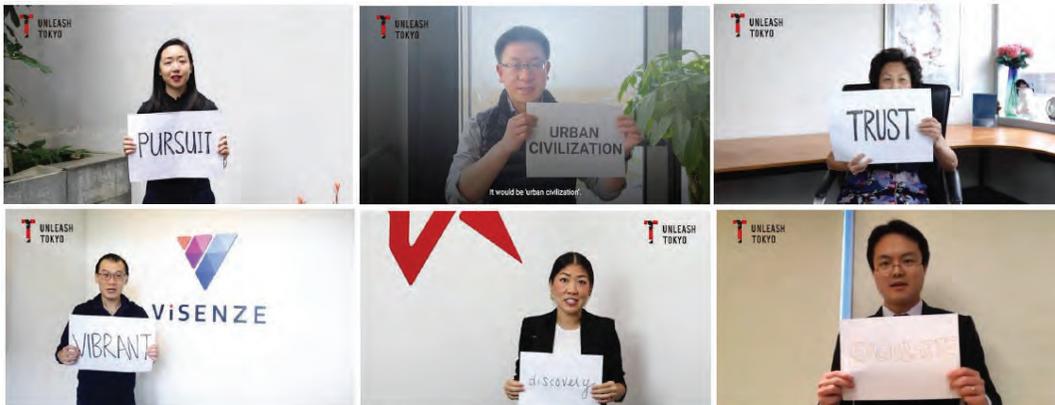
[1日目] 東京に進出する魅力を外国企業に伝えるプログラム

[2日目] 東京で今求められるビジネスを外国企業に伝えるプログラム

[3日目] 具体的な東京におけるビジネス展開をイメージさせるプログラム



「UNLEASH TOKYO」PR動画



世界に影響力のある国内外のインフルエンサー・有名企業等から、“Unleash Tokyo”をテーマに、東京の魅力・強みを幅広く世界に発信



オンラインイベント
・PR動画の視聴は
こちらから！

VI. グローバルを考慮した拠点形成(7/7)

2. ダイバーシティ PT

- エコシステムをさらに発展させ、東京を世界から人材・企業等が集まるグローバルな都市としていく上では、女性や外国人等をはじめとするダイバーシティの視点は非常に重要
- ダイバーシティ確保にかかわる現状・課題を共有し、スタートアップ、大企業、投資家等、多様な主体の参画のもと、「ダイバーシティPT」を設置

3. INNOVATION LEADERS SUMMIT (ILS) への参画

「東京グローバルスタートアップエコシステム構築に向けた連携協定」に基づき、ILSに参画
国内外の大手企業、スタートアップ、VCの協業・連携を強化

INNOVATION LEADERS SUMMIT 2021 (令和3年3月)

- 対面とオンラインで2つの会期に分けて開催。
オンラインイベントは8日間で14,399名が参加。
スタートアップと大手企業の新事業創出プログラム
「パワーマッチング」は、対面とオンラインのハイブリットで開催、
過去最大となる 2,720件の商談が行われた。
- 都は、東京コンソーシアム特別セッション及び『T-100』ピッチイベントを主催。特別セッションでは、パネルディスカッション、都とJETROによる支援プログラム等のプレゼンを実施、累計1,167名が参加
協業マッチングコンテスト「TOKYO CHALLENGE100」では、大手企業24社が応募総数1,202件の中から78社の協業候補(T-100スタートアップ)を選出

